



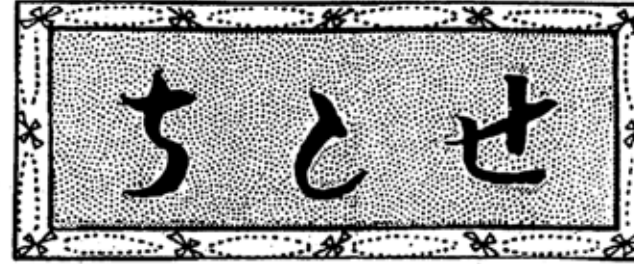
発行・編集 ミニコミ編集委員会
責任者 齋藤和子
事務局 船橋まちづくりセンター
電話 3482-0341
ファックス 5490-7031
2012:3 No.9 3号



まちの目が
安全・安心を守っています



船橋地区町会・自治会連合会
船橋地区身近なまちづくり協議会
青少年船橋地区委員会/成城警察署/成城防犯協会



「人と人とのつながりを - 近隣の方たちと話してみませんか」

やっぱり、ご近所とのつながりが大事！

20代・30代 合計 77名

家中

- ・家具の固定、防災の講習会などあれば参加するようにしている。
- ・家具の突っ張り棒、紙類、懐中電灯、携帯用の充電器、電池を買った。
- ・ペットボトルに水を入れてトイレに置いた。 ・お風呂の水を抜かない。

備蓄

- ・水、カンパン、充電器、ティッシュ、生理用品をリュックに入れた。
- ・危機感を感じているものの、オムツ、水などの準備をしていないので、家族と相談して用意しようと思っている。 ・飲料水 12 生活用水 20 を準備。
- ・ミネラルウォーターを、買えるときに少しずつ買い足している。
- ・震災後、子どもが生まれたので、子どもの避難用の準備をした。
- ・3 日分の保存食と飲料を常備。 ・会社のデスクにヘルメットを置いた。
- ・仕事場にスニーカーを置いてある。

家族・その他

- ・子どもが一人にいるときの対処法 飛び出さない、机の下にもぐるなど。
- ・色々準備をしている所です。 ・地域の情報をチェック。 ・マンションの避難訓練に参加。 ・ツイッター、フェイスブックで情報を交換。 ・防災の番組は必ず見る。 ・地域のコミュニティ作りなどを進める予定です。(生協で)

40・50代 合計93名 + 年齢不詳 6名

家中

- ・家中の家具を固定。隣近所との挨拶を日頃から交わしている。 ・上に物を置かない。日々を精一杯生きる。 ・倒れても外に出る経路をふさがらないような家具の配置。 ・蓄光テープをスイッチの近くに貼る。蓄光ドアノブカバーを装着。

備蓄

- ・就寝時、懐中電灯、上着をそばに置いておく。 ・キャンプ用品を備蓄。
- ・大切な写真を実家にも送って、保管してもらっている。
- ・これからしようと思うもの 枕元に靴、予備の眼鏡、生理用品を入れる。
- ・食料品は常に多めに買い、古いものから食べるようにしている。
- ・玄関にボールを準備。 ・水だけはすぐに見えるところに置く。

家族・通信

- ・隣近所の人とコミュニケーションをとる。 ・地域の人とつながりを作る。
- ・近所と交流する機会をもてるように心掛ける。(自治会活動など)
- ・小5の子どもの話し、震災後すぐに家に戻らず、学校だったらそのままそこにいるように言った。

その他

- ・まず生き残ることに集中し、その次のことは日頃から準備しておくこと。
- ・3.11 で起きた流れを忘れずに、常に不測の事態を頭にとめて生活。
- ・避難所運営委員会の訓練に毎回参加している。

19歳以下 合計3名

- ・3.11 大切な人を亡くした悲しみは、はかり知れない。

震災、その時 3.11 - その

「あなたの家の防災対策」アンケート

震災、その時、その後・・・皆様はどのような経験をされ、どのような課題がみえてきましたか。

ミニコミ「ちとせ」編集委員会では、東日本大震災時の小中学校での取り組み(91号)、町会・自治会の取り組み(92号)の特集をしました。

今号では、皆様一人ひとりが取り組まれている防災対策について、緊急アンケートを実施しました。皆様の貴重なご意見、ご提案の一部を、ご紹介します。

60・70代 合計 142名

家中

- ・開き戸をロックした。タンスや仏壇につっかい棒をした。 ・開き戸棚に手製のカンヌキを取付けた。 ・真っ暗闇でも脱出できるようにしている。
- ・家具を固定したり、ガラス戸にフィルムを貼ったり気がついたところからしていますが、常に報じられている情報をキャッチするようにしています。

備蓄

- ・阪神大震災の時に買い揃えた物が意外と古くて使いづらかった。時々見直して新しくしないと、と思った。 ・リュックにひとまとめに、すぐ持ち出せる様に。

その他

- ・家族と一時集合場所を話しているが高齢者が居るのでちょっと心配。
- ・体の不自由な夫をかかえていては逃げられない。どうしたらよいか考え中。
- ・地震発生確率は必ずしも信頼できませんが、この情報は有り難いと思います。こういう情報を前向きに考え、地域の絆づくりや行政の防災のためのインフラ力向上に努めて欲しいと願っています。 ・もっと実際に役立つ訓練を。
- ・地震に対しては大変に怖い。携帯が繋がること願う。どのようにしたら良いか分からない。 ・災害対策 机上ではx(ダメ)、実際に即した事をやる。

80代 合計30名

家中

- ・3.11 以降、地震の恐ろしさや火災の恐ろしさを考え、就寝時、外出時にガスの元栓を閉めるようにしている。

備蓄

- ・食料、水、ヘルメット、シュラフ、保温シートを常備。
- ・リュックに身の回りのものを詰めておく。

その他

- ・どうしようもない状態になったらあきらめる。 ・時間がかかっても、世田谷に集まろう！(たとえバラバラになっても・・・)

アンケートの方法

設問に「はい・いいえ」でお答えいただきました。

最後に「あなたが取り組まれている防災対策」を記述していただきました。

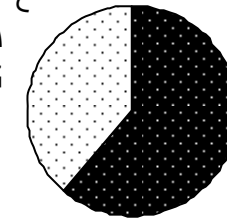
対象は、船橋まちづくりセンター管内の、町会、自治会、民生児童委員、日赤、青少年船橋地区委員会、船橋児童館幼児サークル、老人給食会、赤ちゃん広場など、総数351名の方にお願しました。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



防災用品の準備をした。

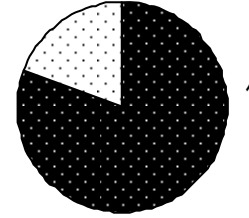
準備して
いない
115名
33%



準備した
236名
67%

水・食料を備蓄した。

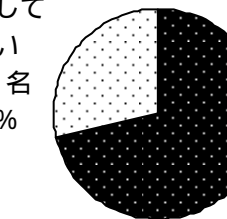
備蓄して
いない
68名
19%



備蓄した
283名
81%

一時集合所・広域避難場所・ 避難所を確認した。

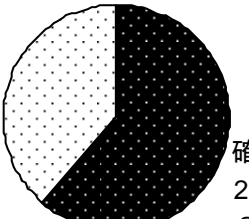
確認して
いない
100名
28%



確認した
251名
72%

家族・大切な人との連絡 方法を確認した。

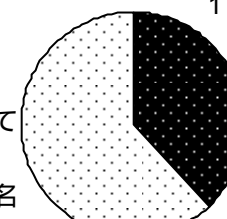
確認して
いない
136名
39%



確認した
215名
61%

避難訓練・防災訓練に 参加した。

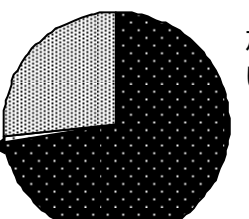
参加して
いない
217名
62%



参加した
134名
38%

町会・自治会に加入している。 もしくは3・11をきっかけに 加入した。

加入して
いない
93名
27%



加入して
いる
253名
72%

加入した
5名
1%

投稿

地元密着ミニコミ紙『ちとせ』に思うこと

都立千歳丘高校 生活指導部 主任 会津 伸

本校では、2階にある職員室の廊下に地元密着のミニコミ紙『ちとせ』が、掲示されています。いつからだろうか？私は、7年目となり、一番古株になりましたが、毎回楽しみに目を通しています。3年ほど前と記憶していますが、『ちとせ』に～千歳丘高校の今～という内容を寄稿しました。それ以降、地域の研修会や様々な場面でのお付き合いが続いています。

この『ちとせ』に、2年前、現3年生の男子生徒が下校中にこの近辺で小学生のお子さんが怪我をした時に、励まし続けたという話が掲載されました。

当時、学年の先生方に確認し、その生徒の行動を学校内で紹介しました。先日、東日本大震災の当日の本校の様子についての原稿の依頼に来校された方とお話する機会がありました。その席上この方がその時のお子さんの保護者であり、その時の感謝を述べられていました。2年近くの月日が経ちましたが、この話を『ちとせ』で目にしたときの気持ちを思い出しました。

日頃は、様々なご迷惑をお掛けすることも多い状況ですが、生徒たちは確実に成長しています。少しの躓きはありますが、私たち教職員や地域の厳しくも温かい目が生徒たちの成長には、不可欠です。その一役を『ちとせ』が担っているのも事実です。今後も末永くお付き合いしていきたいと存じます。

ご協力ありがとうございました
歳末助け合い地域支え合い募金
2,787件 ¥1,625,840円

センターからお知らせ
毎年発行しています。船橋・千歳台管内のごみカレンダー（平成24年4月～9月）を3月下旬頃に町会・自治会回覧または船橋まちづくりセンターで配布いたしますのでご利用ください。

第7回子どもぶんか村発表会
日時 3月25日（日）午前9時より
場所 希望丘小学校 体育館
子ども達の1年間の成果をぜひご覧ください。多くのおみなさまのお越しをお待ちしております。上履きと、クツ袋をお持ちください。

編集後記
地域の情報を地域の方と共有したいという想いで真摯に取り組んでいるミニコミ紙『ちとせ』。創刊は今から30年程まえ。創刊号から30年分の歴史が一冊にまとめられている。地域の学校の50年史作成に一役を担ったと聞く。最近、編集委員の一人が街で声をかけられた。児童を持つお母さん「ミニコミの編集委員の方にお会いしたかった。あの新聞を何時も楽しく読んでいた。特にこの境界の歴史を書いた記事は興味がある。このことをお伝えしたかった。」と地域のうつりかわりが今の人たちに役立ち、興味をそそるといふことは、未来へつなぐ意味をもっていると意欲が湧く。今回の紙面は、まちづくりセンター管内の大勢の方がたのご協力のもとに出来上がった貴重な資料でございます。厚く御礼申し上げますとともに、この資料をステップにしてお互いにどうするかを考えていけますように。皆様のご意見をお待ち申し上げます。

千歳台女性会誕生十年を祝って思うこと 塩野 とみ子

去る23年11月20日成城ホールに於いて、10周年を祝う会を盛大に催した。地域の諸団体のご臨席を賜り、これまでの活動を映像（DVD）で見え、余興の数々で舞台を飾った。

発会時は好奇心で見られたようだが、今は地域の行事に欠かせない会になっている。この会は「親睦」を旨とし、笑顔で集う。行動する。前進する。又、子どもたちが地域の良さを体感できる環境づくりに参画。盆踊り、祭り、舞台出演等にも参加し続けている。

今後は初心を忘れず、高齢者と子どもたちとの組織的連携のパイプを太くする。「笑顔の渦巻く絆」をテーマとしていきたい。



地域情報

- ・4月6～15日 春の全国交通安全運動
- ・4月8日（日）千歳台廻沢町会花まつり（希望丘記念公園）
- 船橋葎根会さくらまつり（葎根公園）
- ・5月20日（日）古着古布回収・フリーマーケット（管内6箇所・駅前広場）
- ・6月3日（日）あおばまつり（池田児童遊園）
- ・6月10日（日）船橋児童館40周年記念式典（船橋児童館）
- ・6月17日（日）エコフェスタちとふな（船橋小学校）

船橋なかよし会 表彰される！

「船橋なかよし会」は長年地域に貢献したということで昨年11月に世田谷区社会福祉協議会より表彰されました。船橋地区会館を会場に、地域の一人暮らしの高齢者の閉じこもりを防ぎ、仲間づくりをして頂く事を目的に月2回開いています。

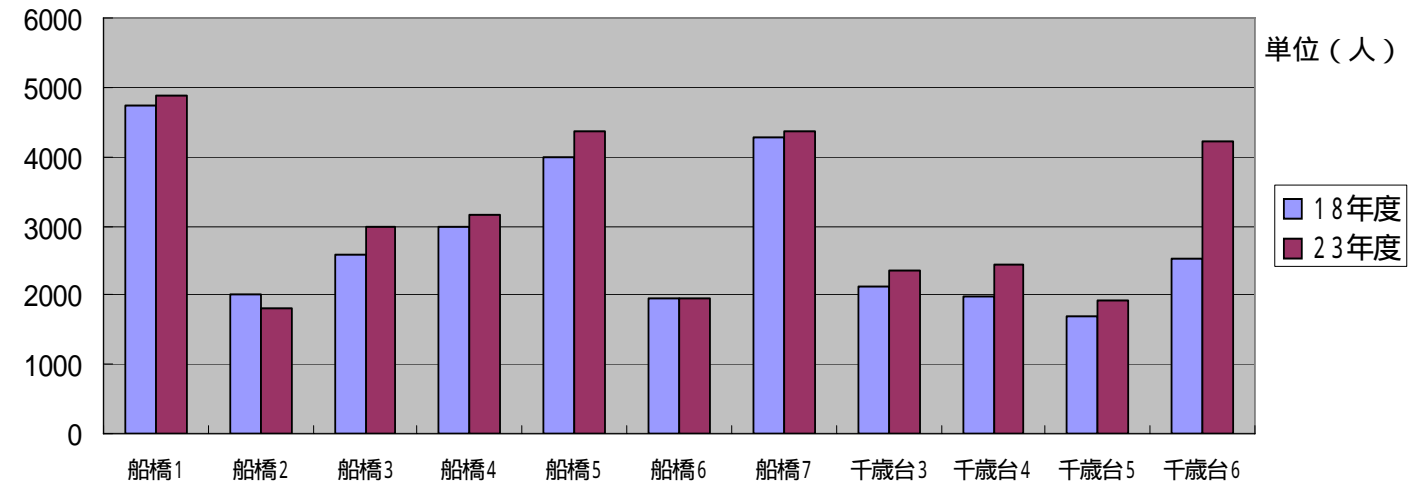
毎回30名位が参加され、午前中は軽い体操やゲーム、昼食をはさんで午後には作品を作って楽しんでおり、参加者の笑顔がスタッフの励みになっています。



船橋まちづくりセンター管内の人口動態

新しいマンションが次々と建つ船橋・千歳台の町。5年前の平成18年度と比較すると、ほとんどの町で人口が増えていることがわかります。とりわけ千歳台では2,630人も住民が増えています。

船橋まちづくりセンター管内（平成24年2月1日現在）
総人口 35,256人
総世帯数 16,622世帯



保坂区長の車座集會開催！



於：船橋まちづくりセンター
2月12日（日）船橋まちづくりセンター2階の活動フロアで、保坂区長を囲んで車座集會が開催されました。参加者は事前申込みをした36人の区民の皆さん（船橋地域在住）。地震、防災、道路、放射能、子どもの活動、マンション開発、自然保護、まちづくりなどについて予定時間を超えて熱心なやりとりがおこなわれました。

世田谷区立船橋希望中学校は

平成24年4月に開校します
船橋中学校と希望丘中学校は平成24年3月31日をもって閉校します。閉校式は3月17日（土）午前・・船橋中学校、午後・・希望丘中学校。新校は開校時から2年間、現希望丘中学校の校舎で学び、平成25年度末に現船橋中学校の敷地に新校舎が完成する予定です。

千歳台小の「耳寄りな、は・な・し」

- 千歳台小学校 校長 つかだ よしお
- 1、「フードマイレージ0！」
学校の周りがある畑。そこをお願い「地域の野菜をください。」採れたての野菜・りんごを給食に出して頂いております。食材にも地域にも愛着が持てます。
- 2、「親子なぜなに理科教室」
ある日、「うちのガレージで理科教室をしたいのですが？」と地域の方からの申し出。「それなら、うちの理科教室をお使いください！」と話はとんとん拍子。毎年夏休み6日間、理科教室を開催しています。
- 3、「冬の屋上・夜のロマン」星を見る会
子どもたちを宇宙のかなたに連れて行ってやりたい。5年前に先生方と始めた天体観測。「星のおはなし」を聞き、親子で観測。帰りには甘酒やお汁粉を頂く。今では、アドベンチャークラブのご協力と高性能望遠鏡など3台立ててやっております。



希望丘小学校「新寺子屋」の取り組み

希望丘小学校 校長 千葉 秀一
希望丘小学校は、今年度から「地域運営学校」に指定されました。毎月開催される「学校運営委員会」が、学校の補習を目的とした「新寺子屋」を運営しています。「新寺子屋」の対象は、1年生～3年生までの児童。土曜日の10時～12時まで、算数、国語を中心に、子ども達の進度に合わせて指導しています。講師は元校長、卒業生、元PTA会長などの皆様。問題・プリントは講師の手作りで、毎回最後の15分ほどで、名作ビデオの鑑賞や読み聞かせなどもあり、子どもたちのやる気は満々です。今後、「新寺子屋」の成果がどう表われるのか、とても楽しみです。